



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヨコオ

コード番号 6800 URL <http://www.yokowo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長

(氏名) 徳間 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 横尾 健司

TEL 03-3916-3111

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	29,449	17.4	674	△4.7	755	△51.0	536	△63.1
27年3月期第3四半期	25,084	1.2	707	31.2	1,541	64.0	1,455	44.4

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 △163百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 2,731百万円 (27.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	26.82	26.76
27年3月期第3四半期	72.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	31,336	19,766	63.0
27年3月期	29,000	20,240	69.8

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 19,748百万円 27年3月期 20,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	4.00	—	10.00	14.00
28年3月期	—	6.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	39,000	13.3	1,200	37.7	1,000	△41.7	700	△56.5	34.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	20,849,878 株	27年3月期	20,849,878 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	845,244 株	27年3月期	845,075 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	20,004,680 株	27年3月期3Q	20,004,803 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の本資料に記載されている業績見通し等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国経済の減速などからリスク回避傾向が強まり、世界各国の株式相場が連鎖的に下落したほか、需給悪化から原油価格が急落いたしました。昨年末に米国が好景気を背景に利上げを実施したものの、世界経済の停滞・減速傾向から、先進国及び中国の金融政策に再び注目が集まる展開となっております。

わが国におきましても、燃料価格下落が家計・企業に幅広く恩恵をもたらすことが期待される一方、外需減退が企業収益に影を落としつつあり、予定されている消費税増税の負担感などと相俟って、経済の先行きは不透明感を増しております。

当社グループの主要市場である自動車市場、半導体検査市場、携帯端末市場におきましては、新技術・新製品の普及・陳腐化が速く、事業戦略の成否などにより世界上位さえも容易に入れ替わり得る状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、質の高い本格的再成長を期し、経営基本方針に掲げる3つのイノベーション（プロダクト／プロセス／パーソネル）の推進に引き続き取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間におきましては、中国工場からベトナム工場への生産移管や生産性向上などによる車載通信機器セグメントの収益体制の建て直しをはじめとする重要施策のさらなる推進とともに、メディカル・デバイス事業の海外販売拡大やLEDパッケージ基板など新規事業の量産立ち上げに向けて、着々と準備を進めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、車載通信機器／無線通信機器の両セグメントの増収により、294億4千9百万円（前年同期比+17.4%）と、前年同期比で増収となりました。営業損益につきましては、無線通信機器セグメントが前年同期比で増益となりましたが、車載通信機器／回路検査用コネクタの両セグメントが減益となったことから、6億7千4百万円の利益（前年同期比△4.7%）と、前年同期比で減益となりました。経常損益につきましては、為替差益計上額が2千9百万円と前年同期比で大幅に減少したことなどにより、7億5千5百万円の利益（前年同期比△51.0%）と、前年同期比で減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、投資有価証券売却益など特別利益5億6千1百万円の計上、事業構造改革費用や不具合製品の交換対応費用及びその引当金計上など特別損失5億4千7百万円の計上、並びに海外子会社における税務更正に伴う税金費用の増加などにより、5億3千6百万円の利益（前年同期比△63.1%）と、前年同期比で大幅な減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の算定方法で組み替えた数値にて比較しております。

## ① 車載通信機器

当セグメントの主要市場である自動車市場は、中国・アセアン・南米など新興国市場が成長鈍化ないし減少の傾向にあるものの、好景気と原油安を背景に順調な推移が続く米国市場に牽引され、緩やかに拡大を続けております。国内におきましては、軽自動車税引き上げの影響もあり、新車販売台数は前年割れが続いております。

このような状況の中、国内向けを主とするフィルムアンテナの販売は国内新車販売減少の影響などから、前年同期を下回りましたが、主力製品であるマイクロアンテナ／シャークフィンアンテナをはじめとする自動車メーカー向け製品は、米国向けに加えてアセアンなどアジア向けの販売が大きく伸長し、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は208億9千4百万円（前年同期比+23.0%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。しかしながら、セグメント損益につきましては、利益率の低い製品が占める比率の上昇や、業量の拡大に海外生産拠点の新規採用製造要員の習熟度向上が追いつかず労務費が大幅に膨らんだことなどから、5百万円の利益（前年同期比△97.6%）となりました。

## ② 回路検査用コネクタ

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、パソコン向けの低迷、タブレット向けの頭打ちや、中国市場の需要減退に伴うスマートフォン向けの成長鈍化懸念の一方で、クラウドコンピューティング向けや電子制御化が進む車載分野向けの伸長、さらにはあらゆる機器がインターネットでつながる、いわゆるIoT (Internet of Things) の進展に伴い、全体としては成長が継続するものと見られております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるBGAソケット等半導体後工程検査用治具の積極的拡販に引き続き努めましたが、新興国市場の需要減退の影響で受注が減少し、前年同期を下回りました。一方、高周波半導体検査用MEMSプローブカードを戦略製品とする半導体前工程検査用治具は拡販活動の効果が出始め、前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は50億1千4百万円(前年同期比+0.8%)と、ほぼ前年同期と同水準となりました。セグメント損益につきましては、マレーシア工場への生産移管を中心とした原価低減活動による利益率向上はあったものの、事業/製品構成の悪化などにより、3億3千9百万円の利益(前年同期比△12.3%)となりました。

## ③ 無線通信機器

当セグメントの主要市場は携帯端末市場及びPOS端末市場であり、携帯端末市場は、スマートフォン/タブレット端末が先進国市場における飽和と中国市場の需要減退から伸びが鈍化しております。一方のPOS端末市場は、物流/製造を始め幅広い業界での利用拡大が続いており、端末機器の多様化・高機能化とともに着実な成長が見込まれております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、携帯端末メーカー向けの販売が低迷した一方で、POS端末メーカー向けに加えて光学機器/車載向けが堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

当セグメントに含めているメディカル・デバイス事業につきましては、下期での海外大手顧客向け販売の本格展開に向けて準備を進めつつ、ガイドワイヤユニット/カテーテルユニットなど組立加工ビジネスの拡大に努めましたが、国内大手顧客の生産調整などから受注が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は35億4千1百万円(前年同期比+13.1%)と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、比較的利益率の高い製品の比率上昇や原価低減活動などにより、1億9千8百万円の利益(前年同期比+113.6%)となりました。

(事業セグメント別連結売上高 前年同期比較)

(単位:百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間 自平成26年4月 至平成26年12月	当第3四半期 連結累計期間 自平成27年4月 至平成27年12月	前年同期比
	売上高	売上高	増減率
車載通信機器	16,982	20,894	+23.0
回路検査用コネクタ	4,972	5,014	+0.8
無線通信機器	3,129	3,541	+13.1
合計	25,084	29,449	+17.4

(事業セグメント別連結売上高 四半期別推移)

(単位:百万円)

	第1四半期 連結会計期間 自平成27年4月 至平成27年6月	第2四半期 連結会計期間 自平成27年7月 至平成27年9月	当第3四半期 連結会計期間 自平成27年10月 至平成27年12月
車載通信機器	6,454	7,092	7,348
回路検査用コネクタ	1,758	1,810	1,445
無線通信機器	1,045	1,272	1,223
合計	9,257	10,174	10,017

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、現金及び預金増加15億6千6百万円、売上債権増加9億1千3百万円、たな卸資産増加6億7千1百万円、有形固定資産減少2億2百万円、投資その他の資産減少6億5千6百万円などにより、313億3千6百万円（前連結会計年度末比23億3千6百万円の増加）となりました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、仕入債務増加8億5千2百万円、短期借入金増加16億1千6百万円などにより、115億7千万円（前連結会計年度末比28億1千万円の増加）となりました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益5億3千6百万円の計上、為替換算調整勘定減少4億4百万円、その他有価証券評価差額金減少3億1千1百万円、配当金の支払3億2千万円などにより、197億6千6百万円（前連結会計年度末比4億7千4百万円の減少）となりました。

## (自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は63.0%（前連結会計年度末比△6.8ポイント）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、前回（平成27年11月11日）公表の通期業績予想に対して、売上高及び親会社株主に帰属する四半期純利益については良好な進捗であった半面、営業利益及び経常利益は低調な進捗となりました。この結果及び今後の受注見通しや為替相場などの動向を踏まえ、通期の業績予想を下表のとおり修正いたします。なお、前提とする為替レートは、1米ドル=115円であります。

(単位：百万円、%)

	前回予想値 (平成27年11月公表)	今回修正予想値	増減	増減率
売上高	38,000	39,000	+1,000	+2.6
営業利益	1,400	1,200	△200	△14.3
経常利益	1,330	1,000	△330	△24.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	630	700	+70	+11.1

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,545,615	5,112,489
受取手形及び売掛金	7,211,699	8,125,018
商品及び製品	2,814,997	3,531,211
仕掛品	260,920	280,980
原材料及び貯蔵品	2,240,001	2,174,756
その他	1,131,723	1,315,444
貸倒引当金	△20,878	△13,505
流動資産合計	17,184,078	20,526,395
固定資産		
有形固定資産	7,744,591	7,541,870
無形固定資産		
その他	919,553	773,110
無形固定資産合計	919,553	773,110
投資その他の資産	3,152,390	2,495,397
固定資産合計	11,816,534	10,810,377
資産合計	29,000,613	31,336,773
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,714,652	4,567,439
短期借入金	1,600,000	3,216,174
未払法人税等	102,720	85,379
賞与引当金	349,733	227,545
その他	1,694,523	2,332,474
流動負債合計	7,461,629	10,429,012
固定負債		
退職給付に係る負債	232,804	218,314
製品保証引当金	—	213,486
その他	1,065,681	709,573
固定負債合計	1,298,486	1,141,374
負債合計	8,760,115	11,570,386
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	10,510,419	10,726,785
自己株式	△991,355	△991,475
株主資本合計	17,497,261	17,713,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	735,419	424,081
為替換算調整勘定	1,622,953	1,218,570
退職給付に係る調整累計額	376,649	392,553
その他の包括利益累計額合計	2,735,021	2,035,205
新株予約権	8,214	17,674
純資産合計	20,240,497	19,766,387
負債純資産合計	29,000,613	31,336,773

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	25,084,244	29,449,966
売上原価	20,167,621	24,331,109
売上総利益	4,916,623	5,118,857
販売費及び一般管理費	4,208,636	4,444,124
営業利益	707,987	674,732
営業外収益		
受取利息	4,201	4,762
受取配当金	37,676	38,770
為替差益	810,713	29,811
その他	30,632	66,977
営業外収益合計	883,224	140,321
営業外費用		
支払利息	23,733	28,634
その他	26,476	31,098
営業外費用合計	50,209	59,732
経常利益	1,541,002	755,320
特別利益		
固定資産売却益	5,920	3,580
投資有価証券売却益	113,740	558,355
特別利益合計	119,660	561,935
特別損失		
固定資産売却損	11,153	496
固定資産除却損	15,894	6,667
事業構造改善費用	14,163	9,168
製品保証費用	—	315,192
製品保証引当金繰入額	—	215,486
特別損失合計	41,210	547,011
税金等調整前四半期純利益	1,619,452	770,244
法人税、住民税及び事業税	135,142	154,795
過年度法人税等	620	55,403
法人税等調整額	28,670	23,605
法人税等合計	164,433	233,803
四半期純利益	1,455,018	536,441
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,455,018	536,441

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,455,018	536,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151,568	△311,337
為替換算調整勘定	1,112,822	△404,382
退職給付に係る調整額	12,196	15,903
その他の包括利益合計	1,276,587	△699,816
四半期包括利益	2,731,606	△163,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,731,606	△163,375
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,982,202	4,972,284	3,129,757	25,084,244	—	25,084,244
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	172,606	—	172,606	△172,606	—
計	16,982,202	5,144,890	3,129,757	25,256,850	△172,606	25,084,244
セグメント利益	235,511	387,080	92,863	715,456	△7,468	707,987

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	715,456
たな卸資産未実現利益調整額	△131,855
たな卸資産評価減調整額	△35,158
その他調整額	159,544
四半期連結損益計算書の営業利益	707,987

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,894,256	5,014,506	3,541,204	29,449,966	—	29,449,966
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	110,727	—	110,727	△110,727	—
計	20,894,256	5,125,233	3,541,204	29,560,693	△110,727	29,449,966
セグメント利益	5,746	339,291	198,312	543,350	131,381	674,732

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	543,350
たな卸資産未実現利益調整額	△10,191
たな卸資産評価減調整額	14,721
その他調整額	126,850
四半期連結損益計算書の営業利益	674,732

## 3 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、共通部門に係る費用を各セグメントの事業実態にあったより合理的な配賦基準に基づき配賦する方法に変更をしております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の利益又は損失の算定方法により作成しております。